

『笑顔あふれる魅力ある学校を目指して』  
～学校・家庭・地域の連携を基盤として～

**【2025 第六日暮里小テーマ】**

**「学校の主役はわたしたち！」笑顔あふれる学校を子供たちの手で！**

子供たちはやがて、様々な人とのつながりの中で、何かを成し遂げようとしながら生きていくことになります。

将来、子供たちが、自分らしく力を発揮できるように、第六日暮里小学校は、

- 子供たちが主体的に活動し、達成感や満足感を得られる場所でありたい。
- 子供たちが多様な「人」「もの」そして「できごと」中で、たくさんの経験を積むことができる場所でありたい。
- 子供たちが「人の役に立つ喜びと自信」「自分を信じられる喜び」を得られる場所でありたい。

と、考えます。

うまくいかないこともたくさんあるでしょう。それでよいのです。子供たちの主体的な活動を重視し、教職員が子供たちを支えていくことで、それは失敗ではなく、かけがえのない経験になります。

子供たちが自分と異なる「人・もの・できごと」と多く出会い、それを承認し合い、課題を解決していくことができる。第六日暮里小学校は、子供たちの「ウェルビーイング」(心身ともに健康で、持続的に幸福な状態)を目指します。

**学校をつくる土台「ウェルビーイング」**

常に問いかけ続けたい。子供たちにとって「楽しくて仕方がない！」場所ですか？

楽しくて仕方がない場所に、子供は必ず来る。それが「ウェルビーイング」。

そのために、以下の1～6を大切にします。

**1 意欲！感動！その一言が子供を変える！「認める・任せる・助言する」指導**

できていることを見逃さず、具体的に認めて褒める。

「あなたが必要です！」が最上級の誉め言葉 一人一人のよさをつかみます。

「どうしたの？」からはじめます よくない行動があっても、まずは子供の話を聞きます。子供の課題を伝える時にかかる言葉こそ、教員としての腕が問われると考えます。

「言ったら評価・させたら評価」 任せる＝何もしない、ではありません。子供たちの力で成し遂げられるよう、時には励ましたり、時にはアドバイスしたり、時には一緒になって喜んだり・・・「支援と評価を一体化」させて関わります。

そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 2 子供たちが「まず、やってみる」主体性の重視

子供たちが「まず、やってみる！」・・・それを「自分の言動への反応・反響を実感する喜び(自己効力感)」「人の役に立つ喜びと自信(自己有用感)」そして「自分を信じられる喜び(自己肯定感)」へとつなげていきたい。そのために、

- ① 「チャレンジ(・∀・)イネ!!」「失敗(o^-^o)ドンマイ」の姿勢で子供たちを応援します。
- ② 児童の主体的な活動を観察し、適切に評価します。  
そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 3 居場所づくり・絆づくり 心理的安全性の重視

児童相互に友達のよさを認め合う場、活躍できる場をつくります。

「自分を生かして、人を生かす。人を生かして、自分が生きる。人を大切にして、自分も大切にされる。」そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 4 学び合い、高め合う教職員チーム 気持ちがそろった教職員チーム

「子供たちを育てたい」という気持ちをもって指導・支援をします。

- 子供たちの立場になって、授業改善を！
- 子供たちの立場になって、児童理解を！
- 子供たちの立場になって、指導・支援を！

そのために・・・

- 子供たちが主体的・協働的に学習を進められるよう、指導技術の向上を目指した校内研究を実施します。(生活科・総合的な学習の時間)
- 積極的に研修に参加して、六日小の子供たちのために有益な情報を持ち帰り、教職員チームの指導力を高め続けます。
- 学び合える高め合える「教職員OJT」を実施します。
- 「平時の生活指導」を重視しつつも、丁寧で迅速な対応を組織的に行います。

そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 5 単学級の強みを生かす「六日おとなチーム」

6年間同じクラス。これは大きな「強み」。子供たちが互いの個性を認めるようになり、尊重するようになり、持ち味を生かしていくようになります。合意形成をしながらどんな課題にも立ち向かっていく「こどもチーム」が作られていきます。

自分を生かして、人を生かす。人を生かして、自分が生きる。人を大切にして、自分も大切にされる。「六日こどもチーム」がよいチームになれるよう、教職員・保護者・地域の「六日おとなチーム」で応援しましょう。

こどもチームもおとなチームも、みんな仲間です。

【教職員・保護者・地域以外にも こんな方々が「おとなチーム」のメンバーです】

- 区教育委員会      ○スクールサポーター（荒川警察署）      ○近隣図書館
- 近隣幼稚園・保育園、小・中学校      ○スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー      ○登校サポートスタッフ      ○寺子屋講師
- 体験学習講師      等

## 6 2025年に集える奇跡を大切に 「人とつながる まちとつながる」創立100周年

- 「このまち大好き!」「いつもありがとう!」地域への感謝と郷土愛を子供たちに
- 「六日小最高!」「このまち最高!」児童・教職員・保護者・地域がつながる記念事業を

教育目標	めざす児童像	具体的な教育活動
すすんで学ぶ子供	主体的に学ぶ	<p>【本物体験】</p> <p>体験型学習の拡充 地域教材・人材の活用、東京2020レガシー等例) 商店街職業体験、江戸里神楽、雅楽、書道、華道、そろばん、折り紙、琴、鼓笛隊、なわとび、短距離走、パラ競技、プログラミング、報道、ボディーパーカッション、生物多様性、金融教育 等</p> <p>【漢検チャレンジ】</p> <p>全児童が漢字検定を受験</p>
	協働的に学ぶ	<p>【学び合える授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の考えを共有できる授業づくり (TPC<sup>i</sup>のMetaMojiClassRoomやWinBirdの活用)</li> <li>・ 話し合い活動・対話的な学習の充実</li> <li>・ 児童が主体的・協働的に学ぶために教員の指導・支援技術向上を図る 校内研究 (生活科・総合的な学習の時間)</li> </ul>
	論理的思考を高める	<p>【プログラミング的思考】</p> <p>プログラミング体験学習 (校内研修)</p>
	学習の基礎・基本の定着	<p>【15分間のモジュール学習の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書や新聞、英語、オンライン辞典サービス等を活用した活動 (単作文、スピーチ等)</li> <li>・ 漢字や計算の習熟、MIM<sup>ii</sup>の取組</li> <li>・ 小テストの計画的な実施</li> </ul>
	情報を収集する 情報を選択する 情報を整理する 情報を発信する	<p>【2つの学校図書館の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「六日小学校図書館活用ノート」「マイ辞書」の活用</li> <li>・ 学習内容と関連する図書がいつでも手元にある環境づくり</li> <li>・ 新聞を活用した学習の推進</li> <li>・ 国語科の言語活動として「調べる学習コンクール」全児童参加</li> </ul> <p>【ICT機器の効果的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT活用スキルの向上</li> <li>・ 写真や動画、プレゼンテーションスキルの向上</li> </ul> <p>【探究的な学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な学習の時間に「探究の時間」を設定 (年間20時間程度)</li> <li>・ 学校図書館やオンライン辞典サービスを活用して、自己が設定した課題に取り組む</li> <li>・ 「調べる学習コンクール」の活動に接続</li> <li>・ 創立100周年を機とした地域学習の</li> </ul>

心豊かな子供	人間関係を形成する 学級・学校づくりに 参画する	<p>【子供たちによる「集団をつくる活動」の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間20回の学級会の実施</li> <li>教員と高学年児童の合意形成によって発足する児童会</li> <li>縦割り活動（異年齢間の活動）の充実</li> </ul> <p>【いじめは許さない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの早期発見・早期対応</li> <li>いじめ防止教育、SNSルール、情報モラル教育</li> </ul>
	基本的な生活習慣を 身に付ける	<p>【六日小のきまり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「六日しぐさ」から重要事項を精選した「新・六日小のきまり」</li> <li>「ルール」＜「マナー」の指導</li> </ul> <p>【めざせ3名人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「あいさつ名人」「靴揃え名人」「廊下歩き名人」</li> <li>児童の自治的活動によって活性化</li> </ul>
	異文化を理解し、 尊重する	<p>【英語教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際コミュニケーション能力の向上を図る授業実践</li> <li>外国人英語指導員、英語担当時間講師との連携</li> </ul> <p>【伝統・文化理解教育】</p> <p>江戸里神楽鑑賞教室、雅楽鑑賞教室、書道教室、俳句学習 等</p>
	自他の生命を 尊重する	<p>【命を大切にする心の涵養】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域と協働した「花いっぱい運動」</li> <li>SOSの出し方教育</li> </ul>
	障害について 理解する	<p>【特別支援教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン教育の理解と実践（校内研修）</li> <li>校内研修会の実施</li> </ul> <p>SC、SSWを活用して密な連携を図る「チーム特支」の体制づくり</p>
	よりよく生きるための 基盤をつくる	<p>【道徳科の学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生命を大切にする心」「友達に親切にすること」を重視した授業</li> <li>道徳授業地区公開講座の実施</li> </ul>
元気な子供	<p>【仲間とともに】</p> <p>体育科ゲーム領域、ボール運動領域の授業改善、運動遊びの重視</p> <p>【自分のからだと向き合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「からだによいこと・わるいこと」の理解 （体育科保健領域学習、保健指導、食育等）</li> <li>水泳指導民間委託による泳力の向上</li> </ul>	

<sup>i</sup> 児童用タブレットパソコンの略

<sup>ii</sup> 初期の「読み」の指導において最大の難関である特殊音節に焦点を当て、文字や語句を正しく読んだり、書いたりすることを目指す指導モデル。